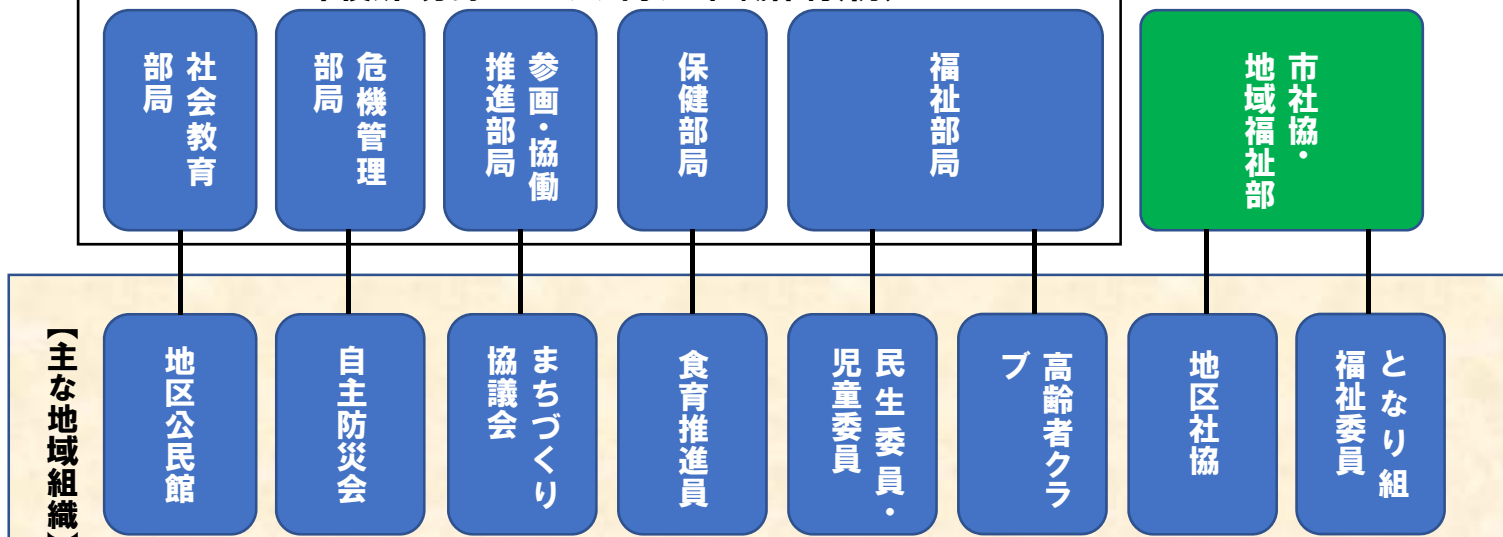


鳥取市における地区を単位とする新たな福祉ネットワークのイメージ図

竹川委員作成資料

これまでの小地域における福祉活動推進組織のあり方

市役所：分野ごとのタテ割りの組織体制(例)



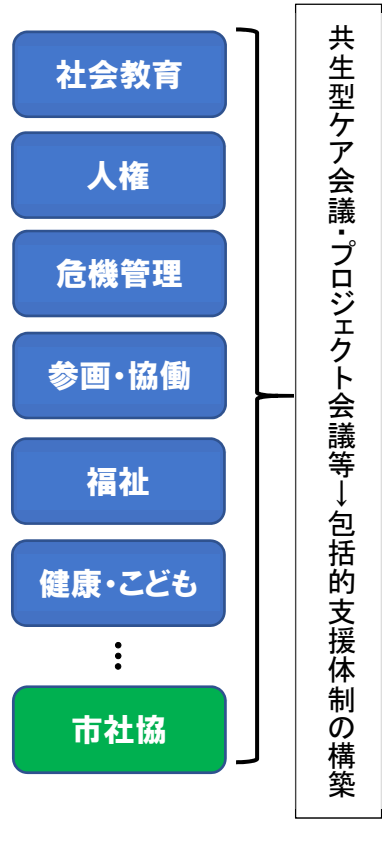
【主な地域組織】

- ◎タテ割り行政にあわせて地域組織もタテ割り組織され、同じ地域にありながら相互の連携が弱い・・・
- ◎個々の組織は、役員・会員の高齢化や担い手不足のために活動が停滞する傾向。会員がますます減少・・・
- ◎頼りにしていた市からの補助金も減少傾向。自主的な活動がますます困難に・・・

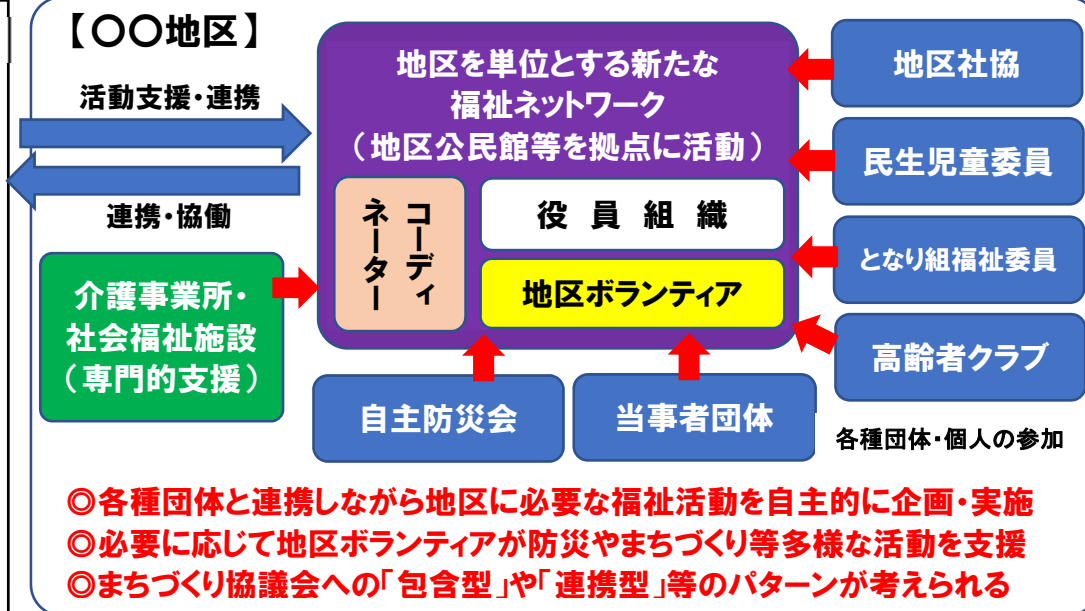
⇒解決すべき生活課題は増大しているのに、地域組織は現状維持すら困難！・・・どうすればよい？

地域共生社会の実現に向けた福祉活動推進組織のあり方

【市内・市外の連携強化】

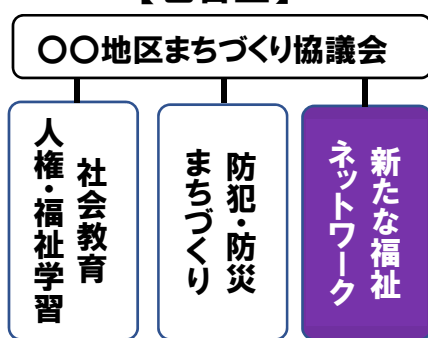


【〇〇地区】

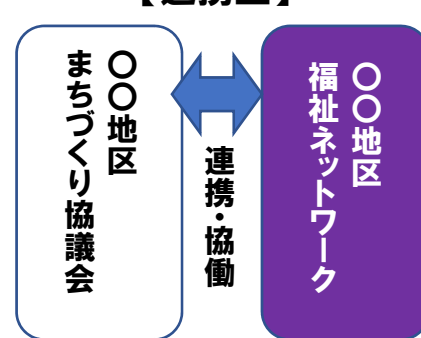


- ◎各種団体と連携しながら地区に必要な福祉活動を自主的に企画・実施
- ◎必要に応じて地区ボランティアが防災やまちづくり等多様な活動を支援
- ◎まちづくり協議会への「包含型」や「連携型」等のパターンが考えられる

【包含型】



【連携型】



地域の实情に合わせて構想